

# 生命環境農学科

募集予定

10人

わたしの  
AO入試



全文は  
Webで!



## 鳥大で砂漠化や乾燥地農業について学びたい！

小6の時ベトナム旅行したのをきっかけに海外へ目を向けるようになった私は、次第にアジアや中東の砂漠や乾燥地農業に興味を抱くようになりました。高2で参加した大学説明会で「砂漠」をキーワードに検索したところ鳥大がヒット。調べていくうち、学部生の時から砂漠化や乾燥地農業について専門的に学べる鳥大への憧れが強くなりました。高3の8月、オープンキャンパスで具体的な研究内容や先輩の体験談などが聞けたことから「浪人してでも鳥大へ行く」と決心。すると担任の先生が「そんな熱い思いがあるならAOから受けてみたら？」と勧められて。AO、推薦1・II、一般前期・後期と、5回ある受験チャンスをフル活用することにしました。

## 隣がすごい人に見えるけど、等身大の自分でOK

志願票は、自分の文字で約2000字書けることを確認してからパソコンで文章をまとめました。志望理由や自己PRを文章化することで曖昧だった部分が明確になり、頭の中を整理することができたので、面接対策にもつながりました。2次のグループディスカッションでは、約20人の受験生が皆、家が農家とか農業高校出身とか農業に関する知識のある人ばかりで不安を感じました。でも、周りの意見をしっかり聞き、分からないところは質問し、農業の知識はなくても自分なりの視点で発言。最後まであきらめないでよかったです。合格後は、自由登校中も学校に通ってe-ラーニングに取り組みました。油断せず学習を継続したことが今の学びに生きています。

4年

もりした ひなこ  
森下 日菜子 さん

私立聖隷クリスティー高等学校出身(静岡県)

## MY FAVORITE "TOTTORI"

鳥取のカレーを食べ歩き



鳥取市内にはカレーライスが美味しい喫茶店やカフェが結構あるんです。私のイチオシは、JR鳥取駅前にある「喫茶ベニ屋」のチキンカツカレー。濃いルウの旨みと辛さのバランスが絶妙！



## 2019年度AO入試 第2次選考

選抜のポイント、面接・論文等の出題例等

- 2019年度AO入試がどのように行われたかについて、学部・学科の募集単位別にポイントや出題例を示したものです。
- 2020年度AO入試が下記のように行われるということではありませんので、ご注意ください。

全体を通して  
求める力

生命環境農学科では、自ら積極的に学び、傾聴力と協調性を持って学んだことを実践で応用できることを重視しています。高校時代に履修できる、あらゆる科目を積極的に学び、知力、体力、コミュニケーション力、気力、実践力の基礎を養ってください。

課題論文	「これまでの経験を踏まえて、鳥取大学農学部でどのように学んでいきたいですか。また、学んだことを、将来、どのように活用したいと考えていますか。」という課題について、具体的に記述するものでした(1,000字程度)。第1次選考合格者は、事前に課題論文のテーマを与えられ、第2次選考当日に課題論文を提出するものでした。
グループディスカッション	1グループ6名に分かれ、「皆さんが、鳥取大学農学部で社会貢献につながるプロジェクトを企画するとしたら、どのようなプロジェクトを企画しますか？グループで一つ決めて下さい。また、そのプロジェクトのなかで、達成すべき目標あるいは解決すべき問題を議論し、それに基づいて、プロジェクトを成功させるために必要な取り組みを3つにまとめて下さい。」というテーマについて、グループディスカッションを行いました(90分)。なお、グループディスカッションの役割分担(司会者含む)を受験者が決めて、進行を行いました。
個人面接	3名の面接官による、1人あたり25分の面接を行いました。また、基礎的な英語についても試問しました。

## ●選抜方法と求める能力の関連

選抜方法	思考力・判断力	表現力	主体性	協働性	農学の課題解決に対する意欲
2次(課題論文・面接)	○	○	◎		◎
2次(グループディスカッション)			○	◎	